

ペースメーカー手帳の見方を勉強しました

私たちの活動の柱の一つとして、みんなの生涯パートナーであるペースメーカーに関する正しい知識を学び広めていく「勉強会」があります。東京支部では、春、秋の年2回開催を目指しています。2024年春は、ペースメーカー手帳勉強会。みんな持っているのに、よくわからない謎の宝庫について、島峰徹也先生（東京工科大学）、田中秀明先生（日本医療科学大学）をお呼びして勉強しました。



4月13日、土曜日、晴れ。世田谷区立保健医療福祉総合プラザ（うめとぴあ）の研修室に、東京支部会員31名、世田谷区広報を見て申込みされた10名が集い、加えて遠路遙々、埼玉県支部と茨城県支部の支部長にもお越しいただき、大盛況でした。大きなスクリーンには島峰先生作成の資料を写し、手元に各自のペースメーカー手帳を開いて、一つ一つ丁寧に、謎の記号や数字の意味が解き明かされていくのは感動的でした。事後のアンケートでも、お二人の先生が直接席までいらして、自分の手帳をみてくださったことへの満足、安心、感謝が綴られていました。



島峰先生



二人の先生

大好評だった手帳勉強会ですが、課題もみつかりました。まずは、お金。参加費 500 円を一律で頂いたのですが、実は配布した資料印刷代が一部 700 円したんです。内容の充実ぶりから保存版として活用できるものですし、その価値十分にありですので、参加費設定がちょっと安すぎたかなあ。

そして、もう一つ。一般参加者に対する友の会への御誘いが不十分だったかもしれません。しおりを手交したり、本部の連絡先をお知らせしたり、それなりの手応えはあったのですが、あれから 2 ヶ月過ぎて、成果はなし。推しが弱かったのかなあ。

※その後、2 名の方の入会がありました。

なお、勉強会の内容については、後日、「かていてる」の記事としても掲載しますのでご覧ください。また、ペースメーカー手帳は、一度の勉強会ですんなりわかるほど柔な相手ではないようです。一支部での取り組みには限界もありますが、首都圏の支部が協力して、多くの会員が勉強が出来る機会を増やすことも考えていきたいと思っています。

東京支部の勉強会活動の試行錯誤は続きます。企画や実施方法に皆さまの工夫を取り入れていければいいなと思っています。登録、質問、意見、要望など、係まで御連絡頂けると嬉しい限りです。他の支部会員からの御意見もぜひお聞かせください。

東京支部担当係 中川副支部長

kikuonakagawa@yahoo.co.jp 又は 080-6777-4897



「日帰りバスハイク」を楽しんできました！

2024年6月28日（金）、支部会員および会員付添人を含め総勢23名が、ほとんどのバスの「豊洲市場と東京スカイツリー」という企画コースに参加する形式で、「日帰りバスハイク」を楽しんできました。

このコースは、豊洲市場だけではなく、隣接する新名所である豊洲千客万来も見学後に、ホテルJALシティ東京豊洲のレストランで「深川飯とおかず小箱＆ハーフビュッヘ」の昼食を挟み、午後には東京スカイツリーから浅草寺、仲見世まで足を伸ばすという盛りだくさんの内容のものでした。



当日は雨降りの一日だったため、旅行担当者は、「日頃の行い」を参加者からたっぷり褒めて(?) いただきはしましたが、熱中症の心配も無く、広大な豊洲市場の屋内見学通路で足腰の鍛錬もでき、スカイツリーの展望デッキに於いては、幻想的な雲の隙間からはるか眼下の街並みを眺め、さらに、多くの海外旅行者が、雨を物ともせずレンタル着物で浅草寺、仲見世を闊歩し、めいっぱい楽しむ姿を目の当たりにする等、心に残る楽しい1日であったと感じております。





「日帰りバスハイク」は、会員間の旧交を温め、新しい友人と知り合う事のできる良い機会であり、東京支部では来年も開催の方針です。

今年は残念ながら都合がつかず参加を断念された会員の方も、是非とも次回は参加を検討してください。旅行担当者は今から善行を積み、多くの皆様とお会いし、素敵な体験を共有できることを楽しみにしております。



(文責 / 旅行担当・黒田)



支部の予定

※ 2024年9月8日(日)「勉強会」13:30～15:30

講師: 庄田 守男先生 (東京女子医科大学教授・東京支部顧問)

会場: 世田谷区立保健医療福祉総合プラザ(うめとびあ)

※ 2024年11月23日(土・祝)「第42回支部総会」

会場: アルカディア市ヶ谷・私学会館